



# ITパスポート試験

## 国家試験

### 第4次産業革命に対応 (i-Pass 4.0)

BIG  
DATA

### 2019年4月の試験から全ての社会人に必要な 新技術(AI、ビッグデータ、IoT)等の出題を強化



i-Pass公式キャラクター

### 上峰 亜衣

(うえみね あい)

Profile ▶ 社会人2年目、23歳。  
大手商社の経営企画部門に所属。  
業務に必要なITと経営に関する  
基礎知識を得るため、i-Passに挑戦。  
2回目で合格(750点)。  
i-Passで得た幅広い知識を活かして、  
日々、奮闘中。



独立行政法人 情報処理推進機構  
Information-technology Promotion Agency, Japan

CBT方式で随時受験可能



#やってみようIT国家試験

IPA公式twitterにて過去問題を配信中!  
<https://twitter.com/IPAjp>



# 第4次産業革命に対応した ITパスポート試験の改訂 (iパス4.0)

全ての社会人に必要な第4次産業革命に関連した  
新技術等の出題を強化

iパスは、ITに関する基礎知識を評価するための国家試験です。2009年度の試験開始から2019年3月末現在までの応募者総数は約98万人、合格者総数は約43万人です。

近年のAI、ビッグデータ、IoTをはじめとするデータ利活用に関連する新技術の進展は、第4次産業革命とも呼ばれ、わが国の経済社会に大きな変革をもたらしています。このような状況下で、新技術によって創出された新たな製品やサービス等を効果的に活用するためには、社会人全体の基礎力として、従来以上にITリテラシーに関する幅広い知識を身に付けることが求められています。

また、政府の「未来投資戦略2018」(平成30年6月15日閣議決定)においても、全ての社会人が持つべき「ITリテラシー」についての基準を策定するとともに、「ITリテラシー」を認定するためにiパスを拡充し、企業の採用選考や従業員の処遇においてAI・IT等に関する能力の反映を促すことが示されています。

このような状況を踏まえ、iパスの出題範囲、シラバスなどの見直し及び新技術に対応した出題の強化を実施することとしました。具体的な見直しの内容は以下のとおりです。

## 見直しの内容

### 1 「業務と役割」及び「期待する技術水準」

新たな項目として、新しい技術(AI、ビッグデータ、IoT など)やアジャイルなどの手法に関連する項目を追加しました。

### 2 「出題範囲」及び「シラバス」

あらゆる業種の企業で活用されていくような新しい技術(AI、ビッグデータ、IoT など)やアジャイルなどの手法に関連する項目・用語例を追加しました。また、近年の動向を踏まえた情報セキュリティに関する項目なども追加しました。

#### 追加する主な項目・用語例

##### <新しい技術や手法>

AI(ニューラルネットワーク、ディープラーニング、機械学習ほか)、フィンテック、仮想通貨、ドローン、コネクテッドカー、RPA、シェアリングエコノミー、データサイエンス、アジャイル、DevOps、チャットボット、IoTデバイス、5G、IoTネットワークなど

##### <情報セキュリティ分野>

サイバーセキュリティ経営ガイドライン、不正のトライアングル、DLP、ブロックチェーン、多要素認証、IoTセキュリティガイドラインなど

### 3 出題内容

AI、ビッグデータ、IoTなど新技術の利活用や新技術を構成する技術要素に関連する出題を強化します。具体的には、新技術に関連する問題の出題割合を、次に示す適用時期から、半年後を目途に2分の1程度まで高めていく予定です。なお、試験時間、出題数、採点方式及び合格基準に変更はありません。

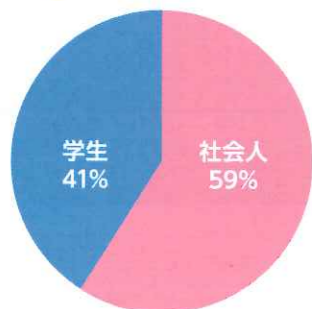
### 4 適用時期

2019年4月の試験から適用されます。

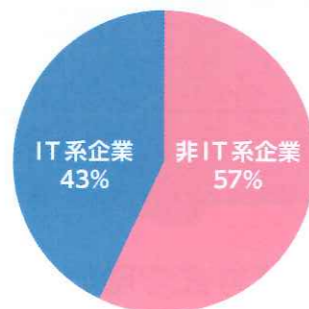
## 応募者データ

※平成30年度統計情報に基づくデータ

#### ●社会人・学生の割合



#### ●社会人 IT系企業/非IT系企業の割合



#### ●社会人・大学生の合格率

社会人  
**61.5%**  
大学生  
**45.7%**

## Interview

インタビュー



オリックス生命

## 入社前に最低限必要なスキルの一つとして、 内定者全員のiパス受験を推進

### 推奨メッセージ



2017年10月に当社では昇格の選考方法を見直し、客観的な評価要件としてさまざまな資格試験の導入を検討しました。その中で、IT分野においては国家試験であるiパスを導入することに決定しました。いまや生命保険会社においてもIT無しではビジネスは成立しません。入社後、どの部門に配属になっても、ITに関する基礎知識が必要になっています。こうした背景の下、iパスは大学生が社会人になる前に受験するケースが多いことを踏まえ、2018年から入社前に最低限必要なスキルの一つとして、内定者の受験を推進しています。具体的には、内定が決まった時点で学生全員にテキストを配布し、入社までに合格を目指すことを基本としています。もちろん、受験料は会社が負担します。

オリックス生命保険株式会社  
人事部 人材開発チーム マネジャー

山田 大河様



私は文系出身で、ITの知識もなく、最初は先輩が話していることが全く理解できなかったというのが正直なところです。今の時代、システムを使用していない会社はほとんどありません。営業の方がなぜ困っているのか、顧客リストをどのように保管したらよいのか、どのようなリスクが考えられるのかということも、言葉一つが理解できないと、スムーズに伝わりませんし、業務も前へ進まなくなってしまいます。iパスを通してITの基礎知識を身に付けておけば業務で必ず役に立つので、就職前に学んでおくほうがよいと、私自身も実感しています。

オリックス生命保険株式会社  
IT企画部

野口 祐以様

## 新卒採用、社員教育等で多くの企業に活用されています

新卒採用時のエントリーシートで、iパスの合否やスコアを確認する企業が増加傾向にあります。IT力を測る客観的な評価尺度の一つとして、iパスが活用されています。

NEC

NTT DATA

大塚商会

TOMOWEL  
共同印刷株式会社

Designing The Future  
KDDI

Panasonic

HITACHI  
Inspire the Next

FUJITSU

●アイネット ● SCSK ● NEC ネットズ エスアイ ● NTT コムウェア ● オリックス生命保険 ● キヤノンマーケティングジャパン ● コネクシオ ● 埼玉県警察 ● トヨタデジタルクルーズ ● トヨタコミュニケーションシステム ● 日本総研情報サービス ● 日立ソリューションズ ● PFU ● 三菱総研DCS etc.

## 多くの大学で活用されています

全国多数の大学でiパスが評価されています!

対策支援講座

単位認定制度

入試優遇制度

受験推奨制度

授業カリキュラム策定

実施校 全国 **138** 大学

実施校 全国 **111** 大学

実施校 全国 **226** 大学

実施校 全国 **118** 大学

実施校 全国 **80** 大学

※各大学へのアンケート調査の結果、ご回答いただいた内容を基に、IPAがまとめたものです。(2017年11月-2018年2月調べ)

## iパスの特徴

iパスはCBT方式により、年間を通して試験を実施しています。CBT方式とは、パソコンを利用して実施する試験のことで、受験者は試験会場にて、パソコンに表示された試験問題に解答する方式です。

### いつでも、どこでも、受験ができる！

- 自分の都合に合わせて、試験日時や試験会場を選択できます。
- 全国約100箇所の試験会場で受験できます。

### 結果がすぐわかる！

- 試験結果が、その場ですぐにわかります。
- IT力をスコア(1,000点満点)で確認できます。

### 得意分野・苦手分野がわかる！

- 分野別のスコアが確認できます。
- 苦手分野が把握でき、次回に向けて対策できます。

## iパスで問われる知識

<b>ストラテジ系 経営全般</b>	経営戦略、財務、法務など経営全般に関する基本的な考え方、特徴など
<b>マネジメント系 IT管理</b>	プロジェクトマネジメント、システム開発などIT管理に関する基本的な考え方、特徴など
<b>テクノロジー系 IT技術</b>	ネットワーク、セキュリティ、データベースなどIT技術に関する基本的な考え方、特徴など

## 試験内容

試験時間	120分	解答形式	四択択一式	受験手数料	5,700円 (消費税込み)
出題数	■ 出題方式 小問:100問 ■ 出題分野 経営全般(ストラテジ系) 35問程度 IT管理(マネジメント系) 20問程度 IT技術(テクノロジー系) 45問程度				
合格基準	総合スコア、分野別スコアのすべてが次の基準を満たすこと <b>総合スコア</b> 600点以上/1,000点(総合スコアの満点) <b>分野別スコア</b> 経営全般(ストラテジ系) 300点以上/1,000点(分野別スコアの満点) IT管理(マネジメント系) 300点以上/1,000点(分野別スコアの満点) IT技術(テクノロジー系) 300点以上/1,000点(分野別スコアの満点)				

## 出題の特色

- check 01** 実務で遭遇する身近な場面を取り上げた問題を織り交ぜて出題します。
- check 02** 業務を安全に遂行するために必要となる情報セキュリティに関する知識について、積極的に出題します。
- check 03** 業務を理解する上で必要となる経営全般の基礎知識を出題します。
- check 04** 最新の技術動向に関する問題を積極的に出題します。

## 受験の流れ

受験日を自分で設定できるから、好きなタイミングで受験することができます。



## 団体申込み

### バウチャーチケットのご利用が便利です！

企業・学校等で、受験手数料を一括支払いできる「バウチャーチケット」をご購入いただくと、担当者向けの「成績情報提供サービス」がご利用になります。

- メリット 01** 社員・学生(受験者)の成績情報を管理
- メリット 02** 成績情報(テキストデータ)により、社内の効果測定等に活用
- メリット 03** 銀行振込による一括支払いが可能(請求書発行対応も可能)
- メリット 04** 少人数での申込み・支払いにも対応(1枚から購入可能)

ご提供する成績情報 / チケット番号、チケット使用状況、チケット使用日、受験番号、氏名、受験日、総合スコア、分野別スコア、合格証書番号 等

組織の強み・弱みが一目でわかる「正答率レポート」出力サービスをご利用ください。全国の社会人、学生と14のカテゴリ別に比較！バウチャーご利用者様向けのサービスです。

お問い合わせ先

**IPA** 独立行政法人情報処理推進機構  
Information-technology Promotion Agency, Japan

ITパスポート試験 コールセンター

TEL 03-6204-2098 E-mail call-center@cbt.jitec.ipa.go.jp  
(特定電子メールは送信しないでください。)

詳細はホームページをご確認ください。 <https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/index.html>

iパス

検索